

## 第17回 納涼祭 開催

猛暑の続く7月14日(土)、大阪キャッスルホテルにて恒例の納涼祭が71名の参加者で盛大に開催されました。今回も秋田から枝豆、ささげ、アスパラ、おくら、なす等々を取寄せ、秋田のお酒も「高清水」「秀よし」「まんさくの花」を揃え秋田を満喫できるように準備されました。

午後1時に開始。加藤会長挨拶に続き、新入会員の紹介と挨拶、秋田県から駆け付けて頂いた観光文化スポーツ部観光戦略課政策監橋本秀樹氏の挨拶と乾杯発声と進み、京都秋田県人会の高橋昭夫さんの草刈唄披露を始め、出し物も詩吟、民謡、ピン踊り、けいおん同好会と多彩に繰り広げられ最後は「ドンパン節」を皆で踊り締めくくりました。

近畿地区は一か月前の地震や先日の豪雨災害に続く異常な酷暑と自然の猛威にさらされていますが、それらに負けず元気いっぱい楽しいひとときを過ごしました。秋の「きりたんぽ会」まで猛暑を乗り切る決意を新たに閉会し、二次会に向かう人もちらほら。





2次会 京橋徳田商店ラウンジ



# わらび座に感動！

酷暑の中 わらび座に感動してきました。7月14日・15日 あべのハルカス 近鉄アート館でわらび座の公演を観劇してきました。

恒例のわらび座ミュージカルですが、今年は北前ザンブリコです。

「金さえあれば何でも出来る」が信条の主人公が一攫千金を夢見て北前船に乗ります。北前船は食糧、衣服、唄、踊り、各地の文化を積んで日本海を行き来する、まさに海の総合商社です。貧しい乗組員にとっては夢と野望も積み込み、寄港地にも繁栄をもたらす宝船です。日本海の荒波と大嵐に難儀しながら、やがて「北前船はただ荷物を運んでいるだけじゃなく人の思いと命をつなげていく仕事なんだ！」と気付かせてくれるストーリーに主人公だけでなく、見ている私たちも気付かせてもらいました。

わらび座の演目はいつも感動をもらいます。秋田の田沢湖のわらび座劇場で8月から「北前ザンブリコ」が見られるので、帰省のうちにまた見に行きます。近畿秋田県人会と京都秋田県人会で、死ぬほど暑い中、みんなで見てきましたが、また見たいです。



## 鉄道豆知識

暑い夏も終わり、釣りに最適な季節が近づいてきました。以前は電車で釣り場に行っていました。JRを利用の時、神戸駅で乗り換える事もありました。その時線路脇に写真のような標識を見つけました。又両面とも『0』（ゼロ）と書かれた「キロポスト」もあります。（設置場所は東海道本線と山陽本線の境界です）線路枕木にも記入が有ります。

多くの人は、東海道線本線は東京から大阪駅までと思っている人が多いと聞きます。東海道本線の起点は神戸駅で山陽本線の起点も当然神戸駅になります。また東海道本線は政府登録の線名になく、今回の線名も正式には東海道線だそうです。JR 四国では現在すべての路線名から本線の名前が無いそうです。

安部正勝



☀️ 🍺 北東北三県合同ビアパーティ 🍺 🌻

「命にかかわる」猛暑が続く関西ですが、暑さに負けじと、7月22日(日)、恒例の青森、岩手、秋田三県人会合同ビアパーティーが「アサヒスーパードライ梅田」にて開催されました。今年は過去最高の136名(うち秋田は54名)の参加者で、大いに盛り上がりました。

まず三県人会会長が壇上に揃い踏みし簡単に挨拶。三県合同事務所・菅(すが)所長のご発声により、よく冷えた新鮮な生ビールで乾杯しのを潤しました。

今年は秋田が幹事県ということで、民謡、津軽三味線、ビン踊り、そして参加者期待?のイケメン男子?を従えたチーム福田のフラダンスと参加者全員で踊る「ドンパン節」と多彩な出し物で大受けでした。

青森、岩手からも、のど自慢の方々のカラオケ、そこへ飛び入りのダンスもついて時間を忘れるほどの盛り上がりを見せました。

来年は岩手が幹事県ということで、バトンタッチシアツという間の3時間。店を出たらまだ灼熱の太陽が降り注ぐビアパーティーとなりました。







## 街角訪問（尼崎城）

兵庫県尼崎市は30日、阪神尼崎駅南側の城址公園（同市北城内）で復元計画が進められている「尼崎城」の外観イメージ図を公開した。

昨年11月、家電量販店の旧ミドリ電化（現エディオン）の創業者、安保証（あぼ・あきら）氏が創業の地に恩返しをしたいと市に寄付することを発表。

市に示された計画によると、復元される尼崎城は、実際にあった場所から北西約300メートルにある同公園の中央付近に建設。天守は高さ約23メートルの5階建てで鉄筋コンクリート造りで、1階はホールや売店、2～4階は展示室、最上階の5階は展望室として利用することを想定している。

予算や維持管理の観点から木造ではないが、大きさや形は当時の城を忠実に再現するという。尼崎城は1618（元和4）年に尼崎藩主の戸田氏鉄が築城。明治6年の廃城令で取り壊された。復元する城は今秋に着工し、築城400年を迎える平成30年の完成を目指す。安保証氏は寄付発表以降、大垣城（岐阜県大垣市）や清洲城（愛知県清須市）を視察。市立文化財収蔵庫に残る文献などをもとに再建する城の大きさや建築場所、構造などについて検討してきた。

市の担当者は「イメージが示され、尼崎城の再建が具体的になってきた。寄付後の施設運営に向け、準備を進めたい」と話した。



## 三県人会合同(やもめの会) ビアパーティー開催

連日のように猛暑が続く関西地区、三県合同「やもめの会」イベントが8月4日(土)に夕方でも32度の残熱ある「阪急屋上ビアガーデン」で、勇気あるメンバー参加で開催されました。

参加者達は何十年ぶりかな～と語りながら、5時でもまだ日も高い明るい青空の下、すがすがしい気持でパーティーに臨みました。

今迄のコーモリのごとく夜な夜な開かれていた飲み会とはひと味違い、晴天の爽やかな夕方、賑やかな雰囲気ではじまりました。

料理、ドリンクともセルフサービス。飲み物を探す人、また色々な料理をこれでもかと皿に入らない程盛りながら食べる人、立ち飲みしながら語り合う人など、様々で和気あいあいと最後まで清々しく楽しい宴会となりました。

幹事 保坂勇光



### 2018年度 県人会関連イベント紹介

- ◇ 11月11日(日) 鍋っこ遠足 阪急川西能勢口駅 9時55分集合
- ◇ 11月18日(日) きりたんぼ会 13時～15時 十三がんご寿司本部宴会場
- ◇ 1月26日(土)2019新年総会 総会 11:30～ 懇親会 13:00～



# 金足農業高校 準優勝



金足農業高校 甲子園で熱烈応援!!

立秋が過ぎ、少しだけ猛暑が和らいだ甲子園ですが、連日熱い戦いが繰り広げられています。

大会4日目8月8日の第二試合、待望の金足農業高校が、強豪校・鹿児島実業と対戦しました。

近畿秋田県人会からは50名を超える会員が応援に駆け付けました。

守りでは、吉田投手が毎回走者を背負うものの14三振を奪う力投で、8回の1点に抑え、攻撃では、3回の連打による3点先取と、8回に1点取られた後の2点追加で、結果は5X-1の快勝。148キロの豪速球で観戦者を魅了した吉田投手は一躍ヒーローです。

県人会応援団は、いつもの甲子園駅近くのひよし食堂で祝勝会。久しぶりの勝利の美酒を堪能しました。

第二戦は8月14日(火)12時から、1回戦を本塁打攻勢で勝ち上がった大垣日大高との対戦です。この勢いで次も勝利を目指して頑張れ!!



猛暑ながら好天続きで、開会以降順調に試合が進む甲子園。大会10日目の第二試合、我が金足農業高と大垣日大高が対決し、午後の太陽が照り付ける中、今回も近畿秋田県人会は50名超で応援しました。

試合は初回に1点先取するもすぐに同点。2回に2点取ったものの3回また同点に追いつかれ、4回以降7回まではお互いに無得点。

試合が動いたのは8回。5番センターの大友選手が、追い込まれても6本のファウルで粘った後に勝ち越し本塁打。これで「目が覚めた」吉田投手は8・9回打者6人を力でねじ伏せて、この日最速の149キロを3度も記録し、結果計13奪三振の好投。6対3で金足農業が大垣日大に快勝しました。

県人会応援団も先週の初回勝利以上の大フィーバーです。

因みに、大垣日大は11年前の89回大会の時1回戦で敗れた因縁の相手ですが今回雪辱を果たしました。

3回戦は8月17日(金)10時半からの予定。

相手は強豪横浜高校です。東北魂を発揮し次も勝利をつかんで欲しい。近畿秋田県人会も引き続き熱烈応援します。



直射日光は厳しいものの、猛暑も収まり涼しい風が吹く甲子園。3回戦の金足農業高の相手は横浜高校です。

今回も近畿秋田県人会が応援に駆けつけました。今回は3歳の女兒も近畿秋田県人会Tシャツを着て参加。そのお蔭?か甲子園の勝利の女神が金足農業に微笑む試合となりました。

1回に2点先取されましたが、吉田投手が自らのバットで同点の本塁打。6回、7回と1点ずつ勝ち越されましたが、8回に6番ファースト高橋選手が3点を奪う逆転本塁打。何れも甲子園の風に乗った打球でした。最後は150キロをマークし、14奪三振の吉田投手がしめて、5X対4で勝利し、8強に駒を進めました。

準々決勝は8月18日15時半から近江高校と対戦です。  
佐竹知事も応援に来られるとのこと。次も頑張って勝利しましょう!!



8月18日(土) さわやかな青空の下、甲子園の準々決勝第4試合に金足農業高が出場、滋賀県の近江高校と対戦しました。

これまで勝ち上がって俄然注目を浴びる金足農業の応援に一塁側は多くの人が集まり、佐竹知事も急きょ応援に駆けつけられました。

近畿秋田県人会も連日の応援です。



4回表1点を先取されましたが、5回裏同点に追いつきます。しかし6回昨日と同様1点勝ち越され、いよいよ9回。吉田投手は2三振を奪い計10奪三振の力投でピンチを切り抜けます。

その裏、金足を応援する大音響が甲子園にこだまする中、6番高橋選手、7番菊地(彪)選手の連打、8番菊地(亮)選手が4球を選び、無死満塁で9番斎藤選手が三塁側にバント成功。これが2ランスクイズとなり、劇的な逆転で一塁側は興奮のるつぼです。

次々とヒーローが生まれる金足農業高は34年ぶり2度目の準決勝進出。

8月20日(月)10時から日大三高と対決です。勝利を信じて応援しましょう!!



34年ぶりに準決勝に進出した金足農業高校。第一試合の相手は優勝経験もある強豪日大三高です。選手交代もなく、日替わりヒーローで勝ち上がってきた金農は今回も澁刺としたプレイを披露してくれました。

因縁の元PL投手桑田氏の始球式で始まった試合は、まず1回に4番打川選手の適時打で1点先取。5回にも大友選手の適時打で1点追加し、8回に1点取られたものの吉田投手の粘り強い投球で逃げ切り、2対1で勝利しました。

秋田勢の決勝進出はなんと103年ぶり。8月21日(火)14時から大阪桐蔭高との激突です。東北勢初の優勝で、新調なった深紅の優勝旗を故郷に持ち帰れるよう、東北魂、公立魂、農業魂で戦ってほしいと思います。

頑張れ金農!!



最終日の決勝戦を迎えた甲子園球場。

14時の試合開始前に4万5千人が詰めかけ、通算100万人を超える100回記念大会となりました。

東北勢初の優勝を目指す我が金足農業高校と、史上2度目の春夏連覇を目指す大阪桐蔭高校の激突は、残念ながら大阪桐蔭に軍配が上がりました。

ここまで一人で投げぬいてきた吉田投手も積み重なった疲労の影響か、1回に3点、4回に3点、5回に6点と2本の本塁打を含む桐蔭打線の猛攻に降板を余儀なくされ、6回からは打川選手がマウンドに。

7回に更に1点を失うものの、金足打線も3回と7回に1点づつ一矢を報い、結局13対2で準優勝となりました。

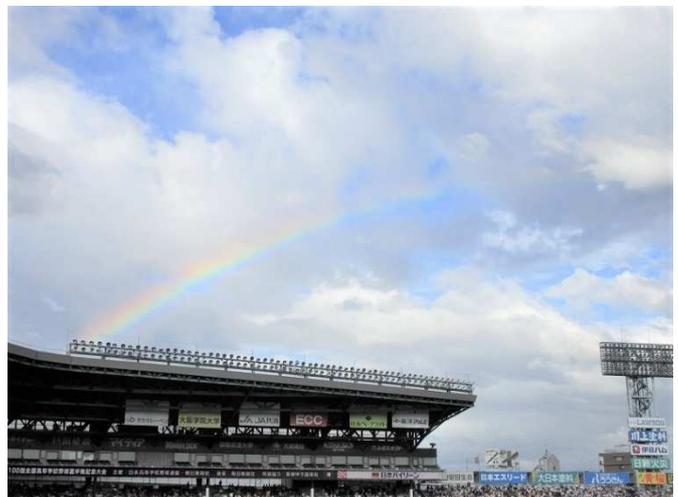


敗れた金足農業ですが、雪国の「雑草軍団」として甲子園に爽やかな旋風を巻き起こしたチームに球場全体から惜しめない拍手が送られていました。

閉会式では上空に虹がかかり、両チームの健闘を称えるかのように。深紅の優勝旗には手が届きませんでした。準優勝楯、メダルも立派で、球場を1周する選手たちもすがすがしい表情でした。

近畿秋田県人会も約2週間、素敵な夢を見させてもらいました。

**金足農業高校感動をありがとう！！**





# 全国高校軟式野球選手権大会



甲子園の興奮冷めやらぬ間に8月24日からは全国高校軟式野球選手権大会が明石、姫路で始まり  
ました。北東北代表として秋田の能代高校が2年ぶり18回目の出場です。

近畿秋田県人会としては22日激励会を行い、24日の篠山鳳鳴高校との試合を応援に行きましたが、台風  
20号の影響により、現地で翌日に延期が決定。

再度翌日の25日、応援に駆けつけました。試合は1回に1点先取されるも、その後は児玉投手の力投で  
無失点に抑え、7回に追いつきます。

8回、9回もチャンスがありましたが残念ながら追加得点ならず延長12回まで同点。

タイブレークとなった13回表、篠山鳳鳴が1点追加した裏の能代の攻撃。

あとわずかというところでチャンスをもものにできず、2対1で初戦敗退となりました。

試合内容では終始有利に進めていただけに残念ですが、近畿秋田県人は来年の再チャレンジを待っ  
ています。  
能代高校お疲れ様！



## 会員動向 2018. 9. 30 現在

### 入会 (敬称略)

金 喜紀	三浦 賢一郎
佐々木 克介	渡辺 奈菜
児玉 祐介	金元 真由美
関 総一郎	加藤 豪
山下 満 啓	藤岡 仁

## 近畿秋田県人会ホームページ

<http://kinkiakita.com>

### メールアドレス

[info@kinkiakita.com](mailto:info@kinkiakita.com)

